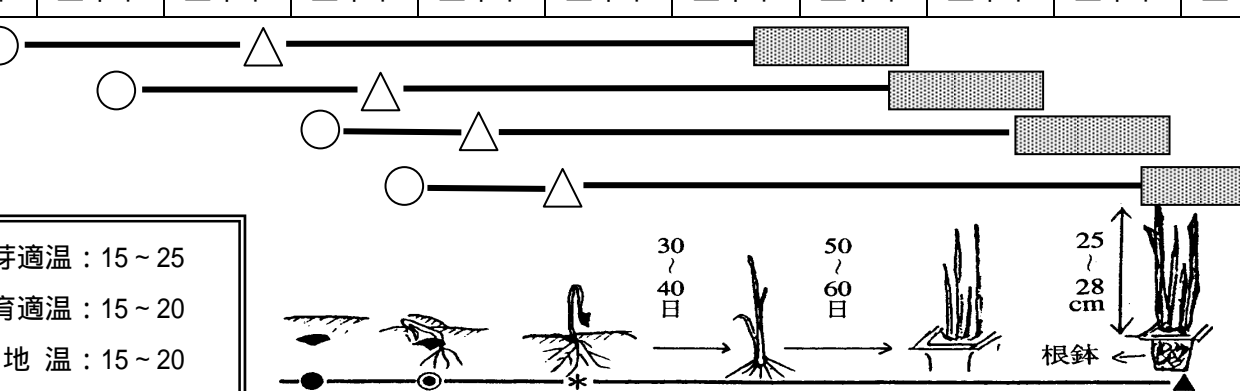


ねぎ (夏扇、元蔵、吉蔵、冬扇、雄山等) 春まき夏秋冬取り露地、ハウス栽培

平成 22 年版

月旬	1 上中下	2 上中下	3 上中下	4 上中下	5 上中下	6 上中下	7 上中下	8 上中下	9 上中下	10 上中下	11 上中下	12 上中下	<p>目標収量 3,000 ~ 3,500Kg 秀品 80% 以上</p> <p>・種子量：6~7dl コート種子5~6万粒 シーダーテープ 750~900m (55~70粒/m)</p> <p>・栽植株数 38,000~45,000本 うね幅 90~100cm 株間 10cm (セル苗) 2.5~3cm (1本苗)</p> <p>セルトレイ 好天時 200穴、曇天時 128穴</p>	<p>施肥例：本畑 10a 当り</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">肥料名</th> <th>現物数量 (Kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">基肥</td> <td>完熟堆肥</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>苦土重焼燐</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>消石灰</td> <td>100~120</td> </tr> <tr> <td>ねぎ専用</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td rowspan="1">追肥</td> <td>燐硝安加里 S604</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	肥料名		現物数量 (Kg)	基肥	完熟堆肥	5,000	苦土重焼燐	40	消石灰	100~120	ねぎ専用	80	追肥	燐硝安加里 S604	60
肥料名		現物数量 (Kg)																											
基肥	完熟堆肥	5,000																											
	苦土重焼燐	40																											
	消石灰	100~120																											
	ねぎ専用	80																											
追肥	燐硝安加里 S604	60																											
栽培体系																													
病害虫	<p>← ネダニ・タネバエ・ハモグリバエ・シロイチモジヨトウ →</p> <p>← さび病・べと病・黒斑病 →</p> <p>← 軟腐病・萎凋病 →</p>																												

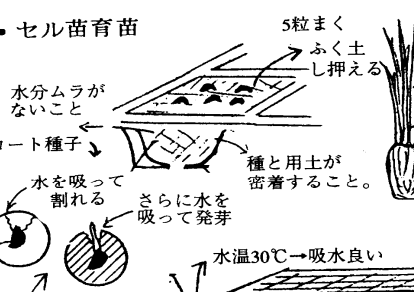
栽培上のポイント

1. 育苗：根の充実した若苗

(1)セルトレイ育苗 200 穴：55~60 枚/10a、
128 穴：80~95 枚/10a 培土は約 3kg/トレイ
(他チェーンポット、ペーパーポット育苗もある)

- ・培用土の pH と EC をチェックする。(適正值 pH: 6~6.5 EC: 0.5~0.7)
- ・5 粒/穴 (下図参照) 覆土後に十分に吸水させる < 発芽器 (25~28℃) 2~3 日 地温 (15~20℃) 5~7 日位

・セル苗育苗



5粒まく
ふく土し押える
種と用土が密着すること。

厚みがある
ため
白く
ビチ
ビチ
根

水分ムラがないこと
コート種子
水を吸って割れる
乾燥すると発芽不良に。

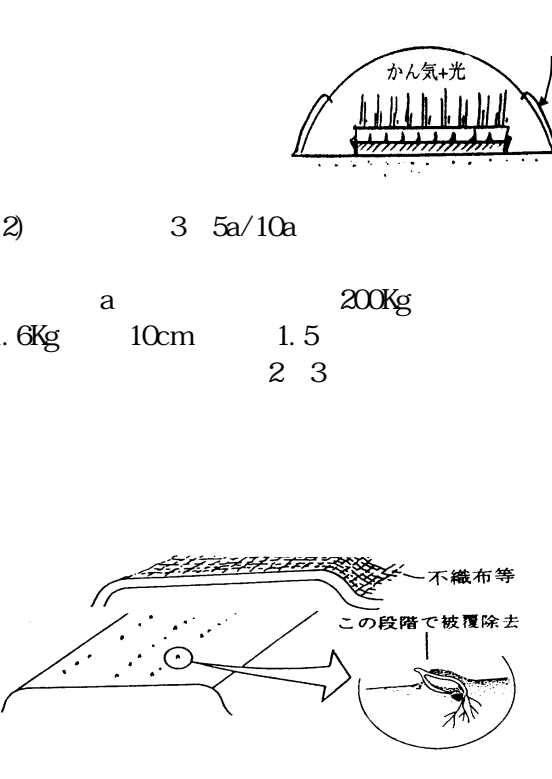
底面吸水

・発芽後は、陽光に十分当て、根を充実させる。

・生育・葉色を見て、灌水し追肥する。(低温期は過湿にしない。)

(2)地床育苗 (3~5a/10a)

- ・日当たり、排水の良い圃場
- ・施肥 (a 当り): 完熟堆肥 200kgN・P・K 各 1.6kg 条間 10cm、株間 1.5 cm
- ・播種：裸種子では、2~3 回間引く。
- ・シーダーテープでは土としっかり密着させて発芽まで乾燥させない。
- ・覆土後に灌水し、べたがけやトンネルで発芽が揃うまで保温する。

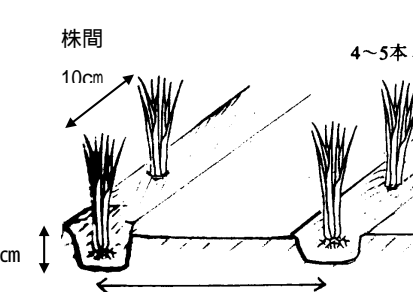


2. 本田準備：排水の良好な圃場

- ・転作田では、明・暗渠を徹底する
- ・pH: 6.0~6.5・有効リン酸 50 mg ~ EC: 0.4~0.7
- ・完熟堆肥を十分に施し、リン酸、基肥も、定植 2 週間以上前に施用し混和する。

3. 定植 (セル苗も移植機を利用できる。)

- ・定植の 2~3 日前に殺菌剤 (ジマンダ化等) を散布・定植前にはかん水 (1000 倍程度の液肥可) を行い、根鉢が壊れるのを防ぐ。
- ・タネバエ、ハモグリバエ等の防除として粒状殺虫剤を定植時に施用する。
- ・定植時の覆土はポット (培土部分) が隠れる位に行う。
- ・うね幅の目安は 90 cm であるが、管理機等の作業体系に合わせる。



4. 定植後の管理

(1) 土寄せ (追肥) については生育状況に応じ一度に多くは行わない。(最終土寄せまでは分岐部の下 5cm は確保) 高温時は行わない。

土寄せの目安 土けずり (植溝への土入れ。)

本格的土寄せのための準備

- ・定植後 20~25 日後とその後 15~20 日後 (茎径が 1cm 程度) の 2 回位に分ける。

2 回目の時、地面が平らになる。

土寄せ 軟白部 (葉鞘部) を確保

- ・生育状況を見ながら 20~30 日間隔で 3 回程度に分けて行なう。
- ・高温期は地温の低い早朝に行なう。
- 追肥の目安
- ・土寄せの 2~3 日前に行なう。
- ・1 回当たりの追肥は N 成分で 3~4 kg/10a とする

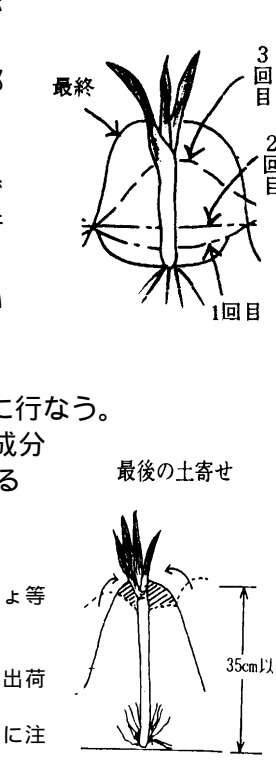
軟白に適した温度 15~20

(2) その他

- ・除草は適宜行う。
- ・停滞水が見られる所は明きよ等により排水対策を行う。

5. 収穫

- ・出荷時期の規格を厳守し、出荷する。
- ・高温期は、輸送中の軟腐病に注意する。



軟白に要する日数の目安	
収穫時期	日数
8月~9月中旬	15日
9月下旬~10月中旬	20~30日
10月下旬~11月中旬	30~40日
11月以降	40日以上

軟白に適した温度 15~20

平成22年度 長ねぎ 栽培履歴

支店名				圃場所在地					
栽培者氏名					電話番号				露地・ハウス <small>(何れかを で囲んでください)</small>
播種日	/		定植日	/		収穫	/ ~ /		
土寄せ	1回目	2回目	3回目	4回目	草取り	1回目	2回目	3回目	
実施月日	/	/	/	/	実施月日	/	/	/	
品種名	秀逸		天の剣		夏扇		その他()		
面積	a		a		a		a		

	資材名	成分	施用量	施用月日	備考
堆肥				/	
				/	
基肥・追肥・他資材	肥料名・資材名	成分	施用量	施用月日	備考
				/	
				/	
				/	
				/	
				/	
				/	
				/	

確認印	
センター長	係

出荷開始前に提出し、出荷するようにしてください。

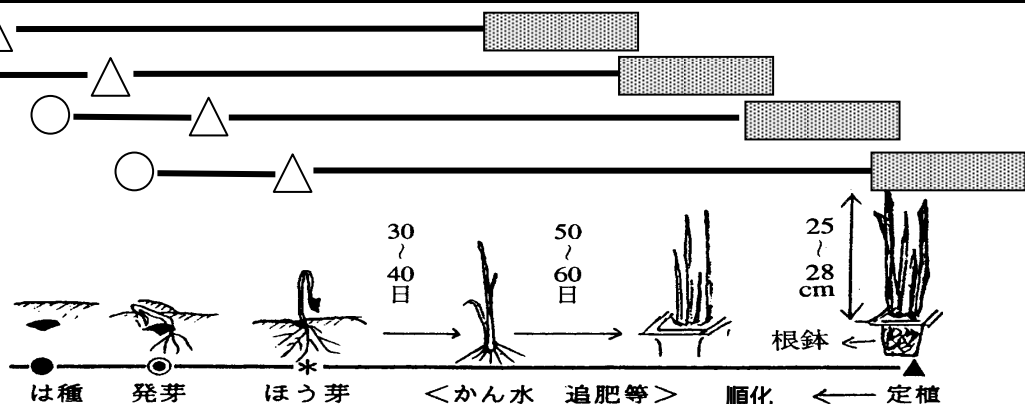
ねぎ (夏扇、元蔵、吉蔵、冬扇、雄山等) 春まき夏秋冬取り露地、ハウス栽培

平成 22 年版

月旬	1 上中下	2 上中下	3 上中下	4 上中下	5 上中下	6 上中下	7 上中下	8 上中下	9 上中下	10 上中下	11 上中下	12 上中下	目標収量 3,000 ~ 3,500Kg 秀品 80% 以上
----	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------------------------------

栽培体系

発芽適温 : 15 ~ 25
生育適温 : 15 ~ 20
適地温 : 15 ~ 20



- ・種子量 : 6 ~ 7dl
コート種子 5 ~ 6 万粒
シーダーテープ
750 ~ 900m (55 ~ 70 粒/m)
 - ・栽植株数
38,000 ~ 45,000 本
うね幅
90 ~ 100cm
株間
10cm (セル苗)
2.5 ~ 3 cm (1 本苗)
- セルトレイ
好天時 200 穴、曇天時 128 穴

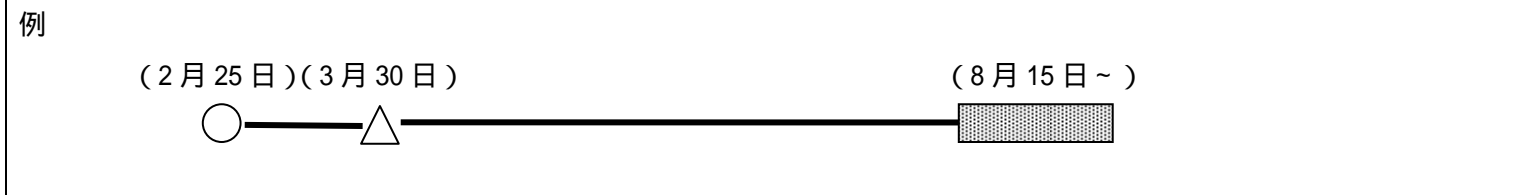
施肥例 : 本畑 10a 当り

	肥料名	現物数量 (Kg)
基肥	完熟堆肥	5,000
	苦土重焼燐	40
	消石灰	100 ~ 120
	ねぎ専用	80
追肥	燐硝安加里 S604	60

月旬	1 上中下	2 上中下	3 上中下	4 上中下	5 上中下	6 上中下	7 上中下	8 上中下	9 上中下	10 上中下	11 上中下	12 上中下
----	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------

種子量 : _____ dl
うね幅 : _____ cm
条間 : _____ cm (_____ 条)
株間 : _____ cm

栽培暦



記入欄 :

	肥料名	現物数量
全量基肥	_____	_____
	_____	_____
	_____	_____
	_____	_____
追肥	_____	_____
	_____	_____

支店名 : _____ 地区名 : _____ 住所 : _____

氏名 : _____ 電話番号 : _____ FAX 番号 : _____